

機内でマスク拒否、男逮捕

大阪府警、ピーチ機運航妨害疑い

格安航空会社（LCC）ピーチ・アビエーション機内で昨年9月、新型コロナウイルス対策のためのマスク着用を拒否してトラブルとなり、運航を妨げたなどとして、大阪府警は16日、威力業務妨害と傷害、航空法違反の疑いで、茨城県取手市井野田地の明治学院大非常勤職員、奥野淳也容疑者（34）を逮捕した。

府警によると、自宅で遠が同社から相談を受け、関捕された奥野氏は「事実とは違いますが、その後の取り調べでは、署名を保留した。」
逮捕容疑は昨年9月7日、創設関西西行き機内で、女性乗務員の左腕をつかんで、暴行を加えて検校を傷かせ、乗務員らを大声で威圧して航空機を遅延させたなど、ピーチ社の業務を妨害した疑い。府警

ため、乗務員は付近の乗客を後方の席に移動させた。その際、乗客から「マスクしていないまま乗られると気持ち悪い」と言われた奥野容疑者は逆上し「侮辱

移送中もマスクせず

大阪府警に威力業務妨害などの疑いで逮捕された奥野淳也容疑者は茨城県取手市の自宅から16日夜、大阪市に移送された。マスクは着けていなかった。ツイッターでは逮捕直前までマスク着用について持論を展開していた。

午後8時ごろ、JR新大阪駅に姿を現した奥野容疑

罪だ。謝罪させろ」と大声で叫んだ。離陸後も乗務員を呼び「暴言の謝罪をさせろ」と繰り返し騒いだ。機長が航空法の安全阻害行為に当たると判断して新潟空港に臨時着陸。そこで飛行機から降ろされた。同機は約2時間15分遅れで関西空港に到着し、乗客約120人に影響が出た。マスク着用を巡るトラブルでの目的地変更は初めてだった。

鼻出しマスク、高い感染リスク

共通テストで失格 専門家「周囲や自分も」

大学入試センターは、大学入学共通テストで、マスクで鼻を覆うよう何度も注意したのに従わなかった受験生を失格とした。鼻を覆わずにマスクを着用した場合、感染を防ぐ効果はあるのだろうか。環境疫学が専門の大西一成（関西国際大学）准教授は「周囲に感染を広げるリスクも、自らが感染するリスクも高まる」と指摘する。

大西准教授は、鼻が出ていると空気中を漂うウイルスを含んだ飛沫を直接吸い込むことになるほか、マスクが顔にフィットしていない状態となり、マスクの効果が大幅に下がると説明する。また、くしゃみやせきをするとき口からだけでなく、鼻からも飛沫が飛び出すといい、周囲の人に感染させるリスクも高まる。

この受験生は49歳の男性で、失格後に会場のトイレに約3時間閉じこもったとして、警視庁が建造物不没去容疑で現行犯逮捕していた。送検後の19日に釈放された。警視庁は任意で捜査を続ける。

神戸新聞
1月20日分

新しい生活様式、特に受験についても、マスクとどう共生していくかが今回の共通テストでも示されました。主張したいこともあって上記の行動だったかもしれませんが、それは“今”じゃないですね。